

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

1 年次学生が 5 年次学生をシャドーイングする早期臨床体験実習が医学部生に与える教育効果：後ろ向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2025 年 10 月に昭和医科大学医学部で実施された早期臨床体験実習（1 年生が臨床実習中の 5 年生に同行するシャドーイング実習）に参加し、実習の前後に実施された質問紙調査に回答した医学部 1 年生および 5 年生を対象とします。

2. 研究目的・方法

医学部の早い学年のうちに実際の医療現場を体験することは、医師の仕事への理解を深め、学ぶ意欲を高めるうえで重要とされています。昭和医科大学医学部では、1 年生が臨床実習中の 5 年生に 1 日同行する「シャドーイング実習」を実施し、実習の前後に質問紙調査を行いました。

本研究では、この質問紙調査の回答を用いて、本実習が 1 年生の医療現場や医師の仕事に対する理解度および学ぶ意欲、ならびに 5 年生の後輩に教えることへの自信（教育的自己効力感）にどのように関連するかを検討します。

本研究では、既に実施された質問紙調査で得られた情報から氏名・出席番号などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号に置き換えた上で解析します。結果は個人を特定できる形で公表することはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、以下の情報を使用します。

- ・実習への期待や参加目的に関する質問紙回答（1 年生・5 年生）
- ・医師の仕事内容、多職種連携の重要性、患者さんとのコミュニケーションスキルの重要性、診察や検査の手順、病棟での入院患者さんのケアに関する理解度の質問紙回答（1 年生）
- ・実習が医学学習へのモチベーションに与える影響に関する質問紙回答（1 年生）
- ・1 年生に指導や説明を行うことへの自信、患者さんへの共感的な態度とコミュニケーション、多職種連携、身だしなみ、倫理的な問題への向き合い方に関する自己評価の質問紙回答（5 年生）
- ・実習に対する想いや振り返りに関する自由記述回答（1 年生・5 年生）
- ・氏名および出席番号（実習前後の回答を照合するために用い、解析データからは削除します）

氏名および出席番号は回答の照合のみに使用し、解析の際には削除して個人が特定できない形で取り扱います。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は昭和医科大学単施設で実施され、外部機関への情報提供は行いません。

6. 研究組織

研究責任者

- 昭和医科大学医学部医学教育学講座
講師 イズデプスキ 龍也

研究分担者

- 昭和医科大学医学部医学教育学講座
教授 泉 美貴
- 昭和医科大学医学部医学教育学講座
准教授 鈴木 慎太郎

研究協力者

- 昭和医科大学医学部
学部学生 大野 淳成

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部医学教育学講座 氏名：イズデプスキ 龍也

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8592